

大規模改修工事について

仙台市博物館は開館から35年以上が経過し老朽化が進んでいるため、令和3年10月1日から令和6年3月末（予定）まで休館し、施設設備の長寿命化及び利用環境・展示環境の向上を図る改修工事を行っています。

これらの工事は建築・機械・電気設備など複数の専門業者が並行して施工します。工事を適切に進行管理できるよう、関係機関・事業者・当館では、月2回の定例打ち合わせや随時の打ち合わせを行い、工事の工程や進捗状況の確認、課題の共有・対応方針の協議などを重ねて進めています。

1 工事の主な内容

(1) 長寿命化改修工事

建築：外壁洗浄・屋上防水、内装・トイレ等の改修

機械：空調設備・給排水衛生設備・防犯設備・消火設備・ガス設備等の更新

電気：照明LED化・非常用自家発電機・避雷針・火災報知機等の更新

(2) 展示室リニューアル

企画展示室の展示ケースの改修・ガラス更新・照明LED化

テーマ展示室Ⅰ・Ⅱの展示ケースのガラス更新・照明LED化

2 スケジュール（予定）

期 間	場 所	工事等の内容
令和3年10月～令和4年3月	施工箇所全般	現地調査、工程作成、受水槽撤去、展示ケース解体等
令和4年4月～7月	収蔵庫（Ⅰ・Ⅱ）等	空調設備や給排水衛生設備、防犯設備、消火設備等の更新（順次実施）、照明LED化、外壁洗浄やトイレ等改修、展示ケース更新等
令和4年8月～10月	収蔵庫（上記以外）	
令和4年11月～令和5年2月	各展示室	
令和5年3月～7月	ギャラリー・ホール・プレイミュージアム等	
令和5年8月～9月	施工箇所全般	各種検査・空調総合調整等
令和5年10月～令和6年3月	館内全般	枯らし期間（館内環境整備・空気環境清浄化）
令和6年4月	再開館	

3 進捗状況

○ 工事の様子

令和3年10月から工事が始まり、現場調査や工程作成を経て、リニューアルする展示ケースの解体や、給排水設備のうち受水槽の撤去、外壁への足場の設置等が行われてきました。



ガラス等が撤去された展示ケース



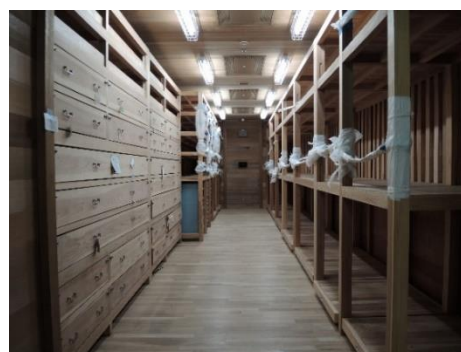
外壁の周りに設置された足場

○ 工事に伴う資料の移動

工事期間中も、資料（文化財）を適切な温湿度の下で保管する必要がありますが、空調設備の更新中はその空調が停止するため、空調を順次更新するよう工程を組んでいます。学芸員は工程に応じて資料を梱包し、温湿度管理ができる部屋への移動を行っています。



梱包作業の様子。箱に入れた古文書をさらに箱に入れて移動します。



資料を搬出した後の収蔵庫

【参考】令和4年3月16日に発生した地震による被害について

総合展示室・特集展示室の展示ケースが壁からはがれて傾き、また、他の展示ケースにもゆがみが生じたほか、館内の石壁や館庭のタイルが破損するなど甚大な被害を受けました。大規模改修工事の工程との調整を図りながら復旧に取り組んでいます。



壁からはがれた展示ケース



石壁に発生した亀裂



イベント広場で破損したタイル